

新規科目

化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

前期

科目No.	557		科目名	コミュニケーション学特論10		サブネーム	社会全体による教育新アプローチ		
連携機関名	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター		レベル	基礎		講義枠	火曜日	講義時間	18:30~20:00
科目概要	教育に関するさまざまな課題に対し、“社会総がかり”で取り組むことが提唱される中、学校、家庭、地域の連携による新たな取組が進みつつある。これらの背景には学校や教員だけでは対応が困難な教育のニーズと、学生、団塊世代、高齢者等の人材が豊かな知識・経験を地域で生かしたいニーズをどのようにマッチングさせるかがポイントとなってくる。本講座においては、学校外の力を活用した新たな初等中等教育段階の幅広い教育の取組を中心に、今日的な課題を題材に複数の講師を交えた受講者との双方向のコミュニケーションのあり方について試みながら、学校・家庭・地域社会の連携による教育の取組が今後の地域社会をどのように形成していくかについて論じる。こうした試みは化学物質管理において国際的に最大の課題となっている社会全体の能力向上とそのための教育の実践にも資する。								
サブタイトル	No.	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属		
	1	総論	子どもをめぐる教育の今日の問題、特に、少子高齢化、地域や家庭の教育力の低下、科学技術の進歩への対応等について概観する。その上で、学校のみならず地域や企業、NPOなどが参加して、社会全体でそのような問題に取り組んでいこうとする現在の新しい流れと、これからの課題について概説する。また、本講座全体のガイダンスを行う。	10月2日	共通講義棟 1号館 205	行松泰弘	文部科学省生涯学習局 社会教育課地域学習活動推進室長		
	2	いじめ・不登校に対する取組み	渋谷区で行っている子どもの居場所づくり「ファンイン」の活動、不登校・登校しづりの子どもたちのサポートをアウトリーチ的手法で行う「ファンイン・ピアサポーター」の実践例を紹介する。	10月9日		相川良子	渋谷区青少年教育コーディネーター		
	3	地域における生涯学習の新たな取組	地域貢献を目指す大学の生涯学習センターにおいて、文京区等と連携し、文化振興や地域の学習活動を支援する人材の育成を行う大学の戦略や取組の成果等を解説する。	10月16日	人間文化602	島田京子	日本女子大学事務局長		
	4	開かれた学校づくりに向けた支援活動【理論編】	学校支援ボランティア等として地域の人材を活用し地域の教育力の向上をめざす新たな取組の経験を踏まえて、開かれた学校づくりにおける課題や成功要因等について解説する。	10月23日	共通講義棟 1号館 205	葉養 正明	東京学芸大学 総合教育科学系 教育学講座 学校教育学分野 教授		
	5	開かれた学校づくりに向けた支援活動【実践編】	社会の成熟化が多様な教育課題を生み出している。そのしわ寄せがすべて学校へ押し寄せている。そうした学校教育に対する支援活動として民間人講師のコーディネートを行い、放課後や土曜日に子どもたちが安心して過ごせる居場所づくり、個別に対応した学びを進めている状況を解説する。具体的には政府の「放課後子どもプラン」等で地域の人材と学校をコーディネートし、多様なプログラムを提供するNPO活動の実践について課題や成功要因等について解説する。	10月30日		吉田博彦	NPO教育支援協会代表理事		
	6	企業・NPOにおける職業教育に関する取組	職業教育の必要性が指摘され、数多くのインターンシップや職場体験が行われるようになってきている。そこで、多様な職業教育のプログラムを意欲的に企画し、幅広く活動するNPOの新たな取組みや課題等を紹介する。	11月6日		河瀬俊祐 生重幸恵	(株)日立製作所 社会貢献部部長代理 NPOスクールアドバイザー ネットワーク理事長		
	7	国際教育－NPOの実践紹介と今後の展望	国際社会を生きる人材育成のための国際教育の充実方策に関して、政府の下に設置された「初等中等教育における国際教育推進検討会」の報告概要を解説するとともに、商社OBが中心となって創設したNPO「国際社会貢献センター」の国際教育への参画について紹介する。更に、今後のNPO活動について、社会的立場づけと発展の方向を海外の例等を参考に解説する。	11月13日		池上久雄	東京大学総長室顧問、NPO「国際社会貢献センター」顧問・前理事長、東京学芸大学 客員教授 国際戦略アドバイザー		
	8	子どもの生活リズム活動	朝ごはんを食べない、お菓子しか食べていない子どもの家庭における現状とこれからの取組みや子どもの生活リズムの向上が子どもたちの意欲や学力の向上につながった実践例などを紹介する。	11月20日		三木とみ子	女子栄養大学教授		
	9	「生涯学習プラットフォーム」市民塾での再チャレンジの取り組み	防災活動、起業家育成、ふるさと塾等の講座をインターネット上で提供する市民塾が市民の知識財を顕在化させ集合知を形成すること、市民の集合知が地域課題を解決する「市民力」を高めること、これらの「市民力」を高める生涯学習推進の重要性について考察する。	11月27日		柵 富雄	富山インターネット市民塾推進協議会事務局長		
	10	高校生の奉仕活動とボランティア活動(仮題)	今年度から開始した高等学校の奉仕必修化について、経済団体・ボランティア団体等との連携や都教育委員会の指導部との連携による指導資料づくりなど地域社会との連携によるボランティア学習・キャリア教育の実践について解説する。	12月4日		梶野 光信	東京都教育委員会生涯学習部計画課社会教育主事		
	11	科学技術理解や理科離れに対する新たな取り組み	サイエンスカフェや学会主催の市民公開シンポジウムなど、先端科学に一般の方が触れる機会が増えてきている。科学館でも、単なる展示にとどまらず、科学技術を子どもから大人まで幅広い層にわかりやすく伝えるイベントや情報発信を実践している。多様化する科学コミュニケーション手法を紹介し、その有効性と社会における役割について考える。	12月11日		橋本裕子	日本科学未来館科学コミュニケーター		
	12	EUの家庭・地域教育の評価に関する取り組み	家庭・地域教育に関するEU諸国における取組について解説するとともに、我が国における今後の課題等について考察する。	12月18日		澤野 由紀子	聖心女子大学教育学科		
	13	キャリア教育	キャリア教育を推進する教育コーディネーターとしての役割の重要性が指摘される中、NPO等の先進的な活動を紹介するとともに、今後の取組みの方向性等について考察する。	1月8日		毛受 芳高	NPO法人愛知市民教育ネット代表理事		
	14	法教育	裁判員制度の導入など国民の司法参加が強化されるなど、国民の法に対する意識を高めることがますます重要になっている。学校教育において、法や司法の意義・機能を実感として理解し、自由で公正な社会を支える法の精神を学習することが重要であり、法教育の取組について解説し、先進的な実践事例を紹介する。	1月15日	佐々木 宗啓	法務省大臣官房司法法制部参事官			
	15	社会総がかりの教育改革について(まとめ)	これまでの講義を総括するとともに、今後の子どもをとりまく教育の多様な展開と充実について展望する。	1月22日	馬場祐次朗	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター長			

注 2007/7/2大幅修正。2007/8/17一部講義の講義名称の変更、講師名の確定など。2007/9/3 講師が全て確定。2007/9/14教室の決定。11/27講師名の修正。